

令和6年度2月号 [2月15日(発行)]



# 東風だより

川口市立東中学校  
川口市東本郷2-20-47番地  
TEL 048-281-4065  
特別支援学級 285-2423  
さわやか相談室 281-4627  
<http://higashi-j.sakura.ne.jp>

## 環境

校長 柳田 勇

数年に一度の大寒波もようやく落ち着きましたが、気温の変化が大きい日々が続いております。生徒をはじめ、保護者・地域の皆様も体調管理には十分お気を付けいただきたいと存じます。

2月7日に新入生保護者説明会を行いました。今年度の東中学校の様子を基本として、次年度について説明させていただきました。その中で、「中学校は厳しい」という声会場から聞こえました。この“厳しい”は、学習に対してなのか、校則についてなのか、部活動なのか、何に対してかはわかりません。しかし、このように感じたことに対して、ぜひ、お子様にも新たな環境を迎えるにあたり、いいスタートを踏み出すことをお伝えいただきたいと思った次第でございます。

さて、3年生の多くは公立高校の出願を終え、今も努力を続けている最中です。既に進路を決めた生徒もおりますが、授業中の様子は、クラス全員で目標に向けて精一杯取り組んでいることが伝わってきます。「環境が人を育てる」とよく言われますが、まさに今の3年生にはその言葉がよく当てはまります。一人一人の努力が、周りによい影響を与えています。また、その逆もあり、皆の姿によって自分も頑張れているのだと思います。1・2年生には、同じように進路実現の時期が来ることを意識して、日々の学校生活を過ごしてもらいたいと思っております。一人一人の自覚が、集団の雰囲気を変えることになるからです。そして、その姿を見る新入生も、中学校生活への覚悟を決めることになります。今の3年生の姿を、東中学校に求められている環境として、下級生たちには引き継いでもらいたいと思っております。

進路決定には、知識や経験があることで、自分の選択肢が広がることは間違いありません。知識は自分の努力の部分ですが、経験は人からの話によって広がる場合があります。今の時代、自分で調べようとすれば、いくらでも情報を得ることができます。しかし、情報によってはよい面ばかり書かれているケースもあります。そこにたどり着くために必要な努力の情報が不足しているように感じる場合があります。何かを身に付けようとするとき、自分の意志や意欲を強くもち、努力を続けるしか身に付かないことは言うまでもありません。しかし、私たち大人もわかっていることですが、それを続けることがなかなかできません。人は頑張った分、すぐに成果を求めがちだからです。投げだしそうになる子供たちを、私たちの経験で踏みとどまらせ、立ち向かわせる環境が大切です。経験談を信用させる人間関係こそが、大きな成果をもたらす一つなのかもしれません。

環境が変わることは、様々なことが変わることです。どんな環境でも、よい人間関係を築き、努力を続けられる生徒を育てたいと思うばかりです。